

事業報告書

事業名 青梅の森の赤ちゃんカフェ



1 実施団体

かぶかぶ山のようちえん

2 担当課

子ども家庭部子ども家庭支援課

3 実施時期

2018年6月～2019年3月 計10回

4 参加者

0歳児の親子

5 実施場所

青梅市内の自然公園

6 事業の目的

自然の中での0歳児親子の触れ合い交流事業により、青梅ならではの豊かな自然を生かして、子どもを産み育て、将来にわたり暮らし続けたいまちを実現することを目的とする

7 役割分担

- 団体の役割

事業の企画、運営、実施

- 担当課の役割

情報提供、広報周知、会場確保、事業実施への協力

8 事業の効果（どのような地域課題が解決できたか）

- 0歳児期の外遊びをどこでしたらいいかわからない、一緒にお外で遊べる仲間がないという親子の子育ての状況に対して、定期的自然の中で一緒に遊び交流する場を用意したことで、月ごと、季節ごとなどそれぞれ親子のペースに合わせて参加されました。
- 仕事復帰で保育園に入られる方が多くいらっしゃいますが、0歳

児の卒業時期になっても続けたいと、1歳以上でも参加できる団体事業へ継続参加を希望される親子も6組いらっしゃいます。

・障害とともに育つ親子も数組参加されました。

自然とのふれあいで感性をはぐくみ、様々な子どもたちと、ともに遊ぶことで、地域の中での輪を広げることができたのではないかと思います。

9 目標達成

事業の目標：

延べ100名の0歳児およびその親の参加

目標の達成具合：

75% 延べ75名の0歳児およびその親の参加

2回以上参加された方に参加前・後のアンケートを実施し、下記のような結果が得られました。（有効回答人数：12名）

青梅という町が好き … 91% → 100%

青梅に住み続けたい … 41% → 100%

子どもの育ちを安心して見守れている … 75% → 100%

青梅の自然環境に関心を持っている … 58% → 100%

参加者の感想としては、下記のような声をいただいております。

「とても楽しかったです。葉っぱの上をゴロゴロしたり、なかなか出来ない経験をさせてもらいました。スタッフの方達も親しみやすく、楽しく参加できました。」（6か月で参加）

「どんな感じになるんだろうと、楽しみにしていました。本当に自然の中で、普段絶対一人ではやらないような葉っぱの上にゴロゴロしたり、木漏れ日を感じたり気持ちいい風に吹かれて、子供にもきっといい刺激になったのではと思います。特にぐずったりせず、ニコニコしていました。野生動物を見れたときは私も大興奮でした。長年青梅に住んでいますが、こんなステキな場所があったなんて知りませんでした。ありがとうございました。」（5か月で参加）

「子どもとおおらかに過ごせるようになりました」（8か月で参加）

「青梅の自然は大好きだったのですがなかなか一緒に遊べる仲間がいなく、自然の知識もなく心配でした。仲間がたくさんできて、青梅にもこんなにすてきな人たちがいるのかとうれしかったです。夢中になっている子どもの姿を見て、子どもってほんとに自然が大好きなんだな〜と実感しました」（10か月で参加）

このような声をいただいています。

10 事業の実施内容

・季節ごとの自然を感じる遊び、絵本の読み聞かせ、ゆったりと楽しむ時間をもつプログラムを合計10回開催しました。

6月29日 青梅の森ムササビ広場で開催。ムササビやカモシカも出てきてくれて、青梅の自然を満喫しました。草や落ち葉でゴロゴロを楽しみました。

参加15組30名

7月20日 霞丘陵公園であじさい、氷、水の遊びを楽しみました。参加7組14名

8月31日 釜の淵公園で川遊びとかき氷を楽しみました。参加6組 12名
 9月21日 天寧寺で雨の散歩を楽しみました。参加5組 10名
 10月19日 ムササビ広場でどんぐり拾いをしました。参加8組 16名
 11月16日 御岳溪谷で紅葉をみたり触ったり、河原で砂遊びをしました。
 参加9組 18名
 12月14日 ムササビ広場の落ち葉のプールで遊びました。参加8組 16名
 1月18日 ムササビ広場で、氷や霜を触って遊びました。参加6組 12名
 2月15日 永山ふれあいセンターで、雨さんぽ。落ち葉で遊び梅の香り
 かぎました。参加6組 12名
 3月15日 ムササビ広場でおたまじゃくしに触れてみたり、春の草花に触ったり、
 落ち葉で遊びました。参加5組 10名

- ・雨天であった9月、2月は場所のみ変更して雨さんぽを実施しました。
- ・参加後のアンケートでは、「初めて原っぱで遊んだ」「友達ができた」「青梅に住んでいるがはじめてきた自然の場所だった」など好評だった。
- ・冬場（12月～3月）は申し込みも少なく、感染症の流行などから、当日の体調不良等によるキャンセルが多くありました。

11 実施団体と担当課の事業評価

4はい 3どちらかといえば「はい」 2どちらかといえば「いいえ」 1いいえ

調査項目	団体	担当課
(1)事前の話合いを十分に行い、役割分担は明確になっていた	4	4
(2)事業に最もふさわしい協働形態が選択された	4	3
(3)協働の役割分担は適切だった	4	3
(4)協働相手は適切だった	4	4
(5)対等な立場での協力関係を築けた	4	4
(6)協働相手の自主性・自立性は尊重された	4	4
(7)事業実施は円滑になされた	4	4
(8)設定した目標が達成された	3	3
(9)協働で行うことにより効果がある事業だった	4	4
(10)今後の課題と改善策をお互いに話し合った	3	3

12 まとめ（今後の課題や改善点など）

・実施時期に関しては、12～3月の冬場は寒さで申し込み数がかなり低くなる傾向がありました。また申し込みはあっても、当日の体調不良等でのキャンセルも多くあり、冬場は特に感染症による影響が大きかったです。比較的感染症も少なく、親も外に出なくなる春～初秋に、月複数回できていれば、参加親子の目標値は達成できたのではないかと考えています。

- ・青梅市に長く住まれている方、あるいは出身が青梅の方でも各所の青梅の自然公園を案内するたびに、「こんなところに来たことがなかった」「知らなかった」という声を多くいただきました。青梅市のすばらしさである自然の豊かさや、資源である自然公園を生かしながら、地域の親子にとってふるさとの自然の風景を増やしていく、青梅市にとってとても意味のある事業だと実施して改めて感じています。

- ・弊団体は八王子市在住のスタッフもいるため、今年度は八王子市で同様の協働事業を実施予定です。青梅発、自然の中で親子が育つ事業を、これからもご支援のほどよろしく願いいたします。

13 その他

- ・広報や事業費でご協力いただきながら弊団体が運営する、今回のような事業協力の形態で、参加者の多い季節に絞って、数年間継続して市と協働しながら実施していければと思いますが、いかがでしょうか。ご検討いただけますと幸いです。